

主催／長岡市歴史文書館

令和6年度 長岡市史双書を読む会

# 新型コロナウイルス感染症と史料保存 長岡市歴史文書館の試み



▲ 掲示物や広報誌など、歴史文書館が収集した新型コロナウイルス感染症関係資料の一部

最初の感染確認から約5年。ウイルス禍にあった生活を、どのくらい覚えていますか？

歴史文書館は、新型コロナウイルス感染症の記憶を記録として後世に伝えるため、関係資料を収集・保存しました。

本講座では、コレラや赤痢など、これまでに県内で流行した感染症に関する歴史研究を振り返り、ウイルス禍の経験と教訓を未来へつなげていく取り組みの意義を考えます。

【会場】 長岡市歴史文書館 1階 講座室

【時間】 午後2時～3時30分（開場：午後1時30分）

【期日・講座タイトル・講師】

回数	期日	講座タイトル	講師
第1回	9月20日（金）	近現代新潟県の感染症に関する歴史研究から考える史料保存	新潟大学人文学部 教授 中村 元
第2回	10月4日（金）	新型コロナウイルス感染症と史料保存 —長岡市歴史文書館の試み—	長岡市立科学博物館 総括副主幹 田中 洋史

【受講料】 無料（テキスト代1,500円）。

テキストは長岡市史双書No.6 2『新型コロナウイルス感染症と史料保存 長岡市歴史文書館の試み』を使用します。お持ちでない方は初回到頒布代金1,500円を御持参ください（お釣りのないようお願いします）。

【定員】 60名（先着） ※1回のみ参加も可能です。

【申し込み】 受付期間：8月13日（火）～9月14日（土）

電話もしくは直接来館にてお申し込みください。

【申し込み先】 **長岡市歴史文書館** ※休館日…日曜日・月曜日・祝日

〒940-0849 長岡市長倉西町458-7

電話 0258-36-7832（開館時間：午前9時～午後5時）

◎水分補給のための飲み物などの御持参をお勧めします。